

「大人と子供で話し合う道徳授業」を終えて(大人分)

感じたこと、思ったこと、考えしたことなど、自由に書いてください。(A6判)

大人 (保護者、地域、教員など)

- ・自分の意見がすべて正しいわけではない。グループで話し合うことでいろいろな考えを知ることができたのがよかったです。とてもよい授業でした。
- ・レオナルド、アントニーの気持ちになって、4人で話し合うのは新鮮でした。5年生といえども、しっかりした意見をもっていて、対等に話し合えたことがよかったです。5年生の児童と話す機会も少ないので、この機会を作っていただき、ありがとうございました。
- ・親切心でよかれと思ったことでも友達のためにはならない、ということを考えさせられました。正直に話すことはとても大事なことだけど、言ってよいことと悪いことの分別は大事です。ひいきをしてもらっても、ラッキーと思う人と正直に生きたいと思う人に分かれる。後者のようでありたいと思いました。
- ・日常の忙しさに追われて、日頃使っていない頭を使うことができたような気がしました。
- ・大人が入っていることもあります、小学生に遠慮させてしまった面もあったのではないかと思います。せっかくなので、豊二小の先生の授業も受けてみたかったです。
- ・とても考えさせられるテーマで、終わったあともどうすべきか考えています。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・多分一生考え続けることだと思う。
- ・いろいろな意見を、しがらみなく言い合えたのが新鮮でした。素敵な機会でした。
- ・人の気持ちはそれぞれ。自分の気持ちだけで行動しては逆に傷つけてしまう場合もある。これは大人も子どもも同じ。
- ・レオナルドと同じことをしそう。客観的にみると、審査しないことが一番よかったです。
- ・とてもやわらかなお話も斜めにすべて考えてしまう、傷ついたアラフィフになってしまった自分を改めてセンチメンタルな気分に、そんな感じです。
- ・よいお話がきました。ありがとうございました。
- ・昔のことを思い出しながら、新鮮な気持ちで勉強させていただきました。
- ・自分の感覚か、友情か、いろいろと考えるきっかけになった。
- ・4人グループのワークが楽しかったです。子供の意見は率直でたくさんの気付きがありました。
- ・最後、複雑なアントニーの気持ちを言葉にするのは難しいと思った。
- ・いろいろと考えさせられる、いい授業だと思いました。
- ・とても難しいテーマのお話を理解していた子どもたちがすごいなと思いました。
- ・人生は後悔の連続だと思う。
- ・自分の意見や考えを相手に伝えるとき、相手の立場や相手の思いを考えてから発言することの大切さを改めて感じました。SNSの利用が当たり前の時代なので、顔が見えないからこそ相手を思いやる気持ちや、いろいろな角度から物事をとらえることが大事だと気づかされました。

- ・ グループワーク、楽しかったです。『友達とは』を改めて考え、大切にしていきたいと思いました。
- ・ とても考えさせられる授業でした。
- ・ 賢者の贈り物の話を思い出しました。ほんの少しのボタンのかけ違いで皮肉な結果になってしまふのだと改めて気付かされました。
- ・ 実際に授業を受けてみて、子どもたちは授業中、集中してよく考えているのだと思いました。役割演技で交代する際、『頭がこんがらがる』と言っていた子どもの気持ちも分かった気がします。
- ・ 『友だちだから』という理由で行動するのではなく、自分が正しいと思ったことをすることが大切だなと思った。相手がどう思うのか、感じるのか、考えていかなければいけない。
- ・ しょっぱなから引き付けられました。道徳は『教材を読み、登場人物の気持ちを考え、特に自分の考えに近いのはどちらか、その考え方や気持ちを自分の経験などに落とし込んで自身を振り返る』それが道徳授業だと思っていました。ところが、『どちらの気持ちにもなり、自分の心と向き合う』だったんですね。どちらの気持ちにもなることがとても難しく感じました。でも、このやり取りがあったからこそ、自分の過去を振り返りやすく感じました。道徳は苦い後味がするのかもしれません。でも、その心のざわざわを消したい気持ちが、自分を成長させる糧になってくれそうです。大人と子供…、同じ人間として向き合えたのもよかったです。
- ・ 自分の思いを発する機会があまりなくなっていたので、とてもよい時間でした。
- ・ レオナルド、アントニー、それぞれの気持ちを考えると何とも言えない気持ちになりました。いろいろな方の御意見を聞くことができ、よかったです。
- ・ 本日の特別授業に参加させていただき、小学生の方はもとより、地域や保護者の方々とのグループ討議を通じて、交流ができる有意義な時間となりました。特に、自分の見方にととまらず、多様な価値観や考え方に対する触れられたことで新たな知見を獲得できました。充実した時間がもててよかったです。また、教職を志す大学生として参考にさせていただきます。今後も機会がございましたら、参加したいです。
- ・ 久しぶりに授業を受けるという体験は新鮮でした。心洗れるというか、自己を見つめ直す良い機会になりました。これからも気持ちのよい生活をしていきたいと思いました。
- ・ 文章をすべて読んで自分が友達のことを思ってやったことでも、相手にとってはよいかどうか分からぬ。難しいなあと思いました。非常によい道徳の授業でした。
- ・ 友達のことを考えた大切な時間になりました。
- ・ 心の演じ分け、楽しかったです。「自分はどう思うか」子どもたちもとてもしっかりと考えて話してくれて、自分を見つめるよい時間であったと思います。
- ・ 大人になって自分が道徳の授業を受けるのが新鮮だった。友達としてどのような行動をとるか、友達に限らず、考えながら動く必要がある。今後に生かしたい。とてもよい経験だった。
- ・ 何歳になっても小さい頃にやってしまったことは忘れられないなと感じると同時に、忘れてはいけないと感じた。
- ・ 普段の生活の中で、こんなに登場人物（レオナルド）1人の気持ちになって作品に触れ、考える機会がないためとても新鮮だった。また、普段かかわることのない小学校5、6年生の気持ちや意見を聞くことがなかなかないので貴重な経験をさせていただいた。
- ・ 素晴らしい会でした。子供たちの気持ちもよく分かり感激した。1時間ではもったいない内容でした。講師の先生の心温まる言葉がけがとてもよかったです。内容では、50歳代ながら自分を見つ

めることができました。

- お話の中のアントニーは落ち込んでいたが、純粋に喜ぶアントニーも世の中にいると思う。私は喜ぶアントニーです。
- レオナルドの心情への迫らせ方が素晴らしいと思いました。グループの6年生の子たちがしっかり考え、レオナルドの苦しさ、申し訳なさを発言していました。最後に「苦い思い出ですね。」と言って帰っていました。
- 嫌な気持ちが無く、ただ良いことをしたつもりでも相手にとっては、よいことでないこともある。相手の気持ちや立場なども考えるようにしたいと思った。いろいろな人と話せてよかったです。
- 本日は皆さんと意見や思いを話し合うことができて楽しかったです。久々に道徳を学んで、道徳は一生考えながら生きることだと思いました。
- アトリエの絵の重さ、子供以上に我々には重く重く思えますね。頑張っていたころ、何も思わないで突き進んでいたころ、大切なときですね。
- 子どもも大人も混ざって様々な立場の人からの意見が聞けて、学びになりました。6年生、しっかりと考えを言うことができてよかったです。
- とても素晴らしい時間でした。大人、子供の枠に関係なく、一人の「人間」として授業に参加し、久々、スマホを手から離して、じっくり自分や相手の気持ちに向き合うことができました。また、本日のような授業を開催していただきたいです。
- グループでお互いの立場を入れ替えて話することで、それぞれの立場や気持ちを理解することができました。(交代したときは、すぐに切り替えることができず、難しかった)。先生が答えを言うのではなく、グループで考え、見つけていくのは難しかったけれど、楽しかったです。
- 学生の時以来の道徳の授業、貴重な時間を過ごせました。役割演技で対話するのが楽しかったです。初対面の人と話すのは苦手ですが、思ったより話せてよかったです。
- とても良い授業でした。大人になってこんなにしっかり授業を受けることもないで、楽しかったです。
- よい授業内容でした。取り上げた内容もよかったです。成人と児童との組み合わせもよかったです。
- 初対面での会話、話し合いがとても新鮮だった。一つ一つ考えて向き合うことの大切さ、常に相手と自己を考えることの大切さを考えさせられた。とても楽しい授業でした。
- 堅苦しくない授業で、子どもたちの考えも聞けて楽しい話し合いができました。「自分を見つめ直す時間」という意味が分かった時間でした。
- 相手を思うことは大切だけど、友人だからと甘やかしたりすると、時には相手に失礼になってしまうこともある。物事を行う際には、しっかり考え、行動することが大切だと思った。
- 「アントニーの絵に投票したい」レオナルドと「初めに大賞にしようと決めた絵に投票すべき」と思うレオナルドが迷いに迷う場面を役割交代してディスカッションした時、気持ちがぐちゃぐちゃになって自分でも戸惑いました。有意義な時間をありがとうございました。
- 私にとって道徳の授業は、思ってもいないけれど「正しい」ことを言わされる気がして、好きではなかったのですが、今回の授業はいろいろな立場になって意見を言い合い、その中から自分を見つめることにつながり、とてもよかったです。

- ・ 大賞に象徴される経済的なことも人生にはとても重要ですし、それ以外にもプライドとして大切だと改めて考えました。
- ・ たいへん考えさせられる授業をありがとうございました。自分の枠にとらわれた狭い考えにとらわれず、常に相手を思いやる気持ちはいくらあっても足りないことはないのだと感じました。
- ・ 相手を思っての行為が相手の喜びになり、悲しみにもなる。仕事も家庭も子育ても「相手」がいるからこそその難しさを日々感じています。改めてそんなことを考えさせていただきました。
- ・ 何が本当に大切なことか、これからのこと、そして今、自分や相手にとって大事にしなくてはならないのは何かを改めて考える時間となりました。
- ・ 改めていろいろと考えさせられる課題でした。また、小学生とも話し合うことができて、彼らの気持ちを知り、勉強になりました。
- ・ 心の中の、あるような無いような気持ちをお話しして、すっきりした気分をもてました。少しもやもやしますが、家族でも話してみたいと思いました。
- ・ レオナルドは絵のタイトルを見たとき、その絵について思うことはなかったのだろうか…。アントニーに大賞をとったと電話したとき、なぜ「友達の力になれてよかったです」と言ってしまったのか…。レオナルドはアントニーのことを本当に大切な友人だと思っていたんだろうなと思った。
- ・ アントニーのようにまっすぐな気持ちを保ち続ける人間は現実には少ないと思いますが、人の気持ちの行き違いについて考えさせられました。
- ・ 今、自分がどのような考えをもっていたのか見つめ直せてよかったです。素晴らしい授業をありがとうございました。
- ・ 道徳の授業で考えたことを伝えるのは抵抗があつたりするが、初対面での話し合いの方が自分を飾らずに話すことができて、とても充実した時間にすることができた。
- ・ よくある話。私も経験したことがある。付度、時と場合によってはいいと思う。
- ・ 先日に続き、本日もよい時間を過ごせました。こういった心を見つめ直す機会は大人になると少なくなってくると思うので、よかったです。心が洗われます。
- ・ 良かれと思っても、人からするとそうでもないこともあると考えさせられました。
- ・ 違う考えと意見を交わすことがとても難しいと思いました。どちらの意見も経験することによって、レオナルド葛藤がよく理解できました。
- ・ 自分が思いもしなかった意見が出て、新しい発見、気づきがありました。思っていた以上に自分は偏った考えをもっていることに気づかされました。
- ・ 今まで道徳にプレッシャーのようなものを勝手に感じていたが、自分と向き合う、別に言いたくなかったら言わなくともよい etc、穏やかな気持ちで受講できました。
- ・ 最初は緊張しましたが、授業の導入からとても心地よく入り込み、安心しながら時間を過ごすことができました。道徳とは自分の心を見つめることだと学びました。とても考えさせられ、また他の方とも会話ができるとても面白い時間でした。
- ・ 今日初めて会った人といろいろ会話ができて楽しかったです。久々に登場人物の気持ちを考えられて、懐かしかったです。
- ・ アントニーはまじめな性格なのだと思います。自分がアントニーだったら、何度もないチャンスであるコンクールで大賞をとれたことを素直に喜ぶと思いました。

- とても分かりやすく、話しやすい雰囲気でした。電話で伝えなければよかったですという鋭い意見が出て驚きました。一方的でなく、じっくり考えることができて、とてもよい授業でした。
- 最後に「友達のためによかれと思ってしたことが逆に友達を傷つけてしまった」経験を考えたとき、自己弁護する自分の気持ちにも気づいた。

(文責；副校長 白井清孝)